

ときわ会常磐病院 外科 黒川 友博

この度、日本ヘルニア学会から「APHS Scholarship 2023」に選出していただき、奨学金を賜りましてマレーシア・ペナン島で開催された第18回 APHSに参加させていただきました。ここに深く感謝いたしますとともに謹んで学会参加報告を申し上げます。

私の参加の契機は、大学の同級生である今村清隆先生から Pre-Congress Workshop の手伝いを依頼されたことでした。準備のため前々日に香港経由でマレーシアに入りましたが、先方のご厚意もあり到着後すぐに Gleneagles Hospital において、腹壁瘢痕ヘルニアの手術の見学をさせていただくことができました。

学会開催前日の午前には事前に申し込んだ Super Video Masterclasses において著名な先生方の講義を拝聴することができました。午後が Suturing Workshop でしたが、日本から持ち込んだ腹腔鏡練習用具を用いて、成功裏に開催することができました。会場の広さやモニターの大きさなどを事前に把握できず少し戸惑いもありましたが、座長の今村先生の臨機応変な対応もあり、非常に盛り上がった workshop になりました。もし今後機会があるならば、継続して関わっていきたいと思っています。

その日の夜には Faculty dinner にも参加させていただく事が出来ました。日本ヘルニア学会の先生方とアジアヘルニア学会の先生方と交流を持って、とても貴重で新鮮な時間を過ごすことができました。

学会開催場所である Setia SPICE Convention Centre はペナン島の中心部からは少し離れた場所に位置しており、非常に近代的な建物でした。オープニングセレモニーではアジア各国の民族衣装を身に付けた舞踊や迫力のあるビデオ演出などを楽しむことができ、また様々な展示もあり学会全体の勢いを感じることができました。やはり、国際学会に参加することは論文を読むだけでは得られない、世界各国の臨床の現状や考え方、他国の進展を知る事が出来る貴重な機会であると感じました。今後一層精進していきたいと刺激を受けることが出来ました。

最後になりますが、今回 APHS Scholarship に選出していただき、このような貴重な経験を賜りましたことに対し、日本ヘルニア学会および関係各位に心より御礼申し上げます。今回の学会で得たことを生かし、今後も微力ながら国内外での学術活動に尽力して参りたいと思っております。



Gleneagles Hospital



Setia SPICE Convention Centre



Suture workshop